松尾鉱山資料館だより

MATSUO MINE MUSEUM

松尾鉱山資料館　TEL 78-2598

鉱山の仕事を紹介「採鉱②」

◆松尾鉱山の採鉱業務

昭和35年、生産合理化のため機構改革が行われ、従業員の多くが働いていた生産部に、採鉱課、探査課、選鉱課、製錬課などが置かれました。

このうち鉱石を掘り出す採鉱課には、160㍍坑から上部、148㍍坑から112㍍坑まで、100㍍坑から下部をそれぞれ担当する三つの採掘係、鉱石や資材を運ぶ運搬係、削岩機や鉱車などの機械装置の管理を行う機械係が設けられました。

◆機械化された松尾鉱山の採鉱

坑内作業は、暗いカンテラの下でツルハシやノミを振るうイメージがありますが、松尾鉱業では創業間もない大正４年に削岩機４台が実験的に使用されていたほか、効率化・安全化などのため、先進的な機械が次々に導入されました。

▶削岩機　大正14年には削岩機５台と動力用の空気圧縮機（コンプレッサー）が採用され、昭和７年にはほとんどが機械掘りになりました。戦後は小型高性能化が進み、35年には一人で操作が可能なレッグドリルなど139台が使用されています。

レッグドリル

▶ローダーとスクレーパー

鉱石の積み込みも昭和13年ごろからローダーなどによって機械化が進みました。特に24年に採用したスクレーパーは、ワイヤで動く大きな鋤（すき）で鉱石をかき込む仕組みの機械で、鉱石の搬出のみならず、一度採鉱した坑道を埋め戻す充填作業にも使用され、積み込み作業に飛躍的な進歩をもたらしました。

フェイスローダー

スクレーパー

図書館だより

LIBRARY

図書館　TEL 75-1700
松尾コミュニティセンター図書室　TEL 76-3235
荒屋コミュニティセンター図書室　TEL 72-2505

◆おはなしのじかん

絵本の読み聞かせや紙芝居などをします。毎回違うプログラムを用意しています。

図書館ボランティアによる楽しいお話会です

■日時　毎月第２土曜日
①午前11時から11時半／
②午後２時半から３時

◆ Tom&Tam Story Time

日本語と英語で交互に絵本の読み聞かせをします。身近な絵本を通して英語を楽しむ機会を増やせます。

■日時　毎月第２土曜日　午後３時から３時半

※読み聞かせはお話室で開いています。クッションに寝そべりながらリラックスして聞くことができます。参加の際はマスクの着用と三密の回避に協力ください。

◆新着ピックアップ

『だれのほね？』

文・切り絵／たけうちちひろ、監修／西澤真樹子、出版／出版ワークス

白黒で表現された骨格とカラフルな動物の絵が楽しい切り絵の絵本です。どんな生き物か当てっこしながら読むのもお勧めです。

『きょうりゅうのずかん』

作／五十嵐美和子、監修／富田京一、出版／白泉社

最新の発見や研究を取り入れ、リアルなタッチで描かれた恐竜の絵本です。有名な56種類の恐竜と、同じ時代に生きていた動物16種類を紹介しています。